

122
2



新鑄增補脉論口訣卷之二



四脉ノ辨察



△常流四ノ脉ヲ第一ノ口訣トス其四

ハ浮。沉。遲。數也。此脉ニテ一千七

百三十六病ヲ診知ル事明ナリ

四脉ヲ爲祖ト云事是右ニ云ノ

如七表八裏九道合テ二十四脉

其外脉ノ姿多シトイヘトモ此四

脉ヲ以テ一切ノヲヤカタトスル也

△道三脉書曰診脉二傳約ノ口傳有

博ク辨別スル則ンハ二十四字絲毫

ヲモ乱ラサシ約テ論スル則ニハ只

浮。沉。遲。數ノ四脉ノ三

浮

有力風トナレ人迎ニテ辨之ヲ
無カ虚トナス氣口ニテ察之ヲ

沉

遲

數

風濕寒熱ヲ外邪ニ屬ス
虛實冷燥ヲ内邪ニ屬ス

△有カ無カトハタトハ浮ノ一脈ヲ以テ云ニ有カトハツケテトレ厄浮ニシテ又押ドモ浮ノ良ヲ失ハズシテアルヲバ有カト云又無カトハツケテトレハ浮ニシテ押バ退ヒテキル様ナルヲ無カト云タトハ今爰ニ浮ニシテカアリテ然モ數ナル病者アルニ是ヲ分別スルニ浮ニシテカアルハ風又數ハ熱也風ヲヒケバ熱氣

サス物也其病ハ上ヨリ下ヲイトナム故ニ寸口軟弱又関上中軟ニシテ尺中濡滑ナルヨシ此事右ニ委レ△口訣曰虛山劉開以浮沉遲數之四脈爲樞要

浮

浮ハ中風傷風ヲ主ル脈浮ニシテカ有ハ風也浮ニシテカナキハ壅也浮ハ花滑洪ト同シ寸脈浮ナレハ上焦ノ病眩暈頭痛ス関脈浮ナレハ胃虚ニ腹脹筋疼ニ身痛合尺脈浮ナレハ腰脚痛合浮ハ外ヨリノ病ト知ヘシ

沉

沉ハ氣ヲ主ル沉ニシテカ有ハ積聚ナリ沉ニシテカナキハ藏府

虚冷冷熱又氣不調ナリ沉八弱伏
滯ト同ジ寸沉八痰壅リ胸滿咳喘
息及胃關沉八腹脹心腹疼飲食せ
ズ尺沉八小便利せず沉八内ヨリノ病也
遲 遲ハ冷ヲ主ル遲浮ナルハ傷風遲
ニシテカアルハ心腹痛遲ニシテカナ
キハ心腎ノ虚冷ナリ遲ハ緩微瀼ト
同ジ寸遲ナレハ虚汗心塞ル関遲ナ
レハ及胃腹痛ス尺遲ナレハ疝氣小便
シゲレ

數 數ハ熱ヲ主ル數緊ナルハ傷寒
數ニシテカアルハ熱數ニシテカナキハ
瘡又ハ腫物數ハ弦緊實ト同ジ寸
數ナレハ上焦ノ熱口乾頭疼関數ハ

霍乱嘔吐煩燥尺數ナレハ大小便
通セス淋病煩渴トニラス

○四知ノ事

△神聖工以是ヲ四知ト云又曰
望聞問切是モ四知ト云補八望
聖ハ關工ハ問切ハ切也神ト望ト
同レ意也余ハ是ニテ可考
△其心肝腎肺脾ノ五臟ノ内ニ病ア
ル時ハ即青黃赤白黒ノ五色面ニ
アスルハ面ノ色青キハ腹中ノ痛也
紅ナルハ腹中ノ熱也白キハ寒也
黒キハ腎氣ノ破也黄ナルハ脾臟
ノ氣弱キ也ダトハハ心氣ノ不足ナ
ル人ハ酒ヲノムズレテ醉ルガ如ク心

二八愁へズレテ愁ルガ如ク于ノ節足
ノ指ノ開透タル者ハ病ウエテヲ
ソク愈ルナリ。是ハ胃腹ノ病ヲ知也。
神也望也。難經六十一難曰望ハ
病ヲ見知ベキ也。病人ノ色ヲ見テ
病ノ吉凶ヲ知ト云也。タトヘハ産婦
ノ面ノ色赤クシテ舌青キハ母活子
死ス。面ノ色青ク舌赤ク沫出ルハ
母死子生ク。唇舌俱ニ青キ子
母亡俱ニ死ト云此類也。素問ノ
五藏生成篇曰色見其用如草滋
者死黃如枳實者死黑如始者
死赤如赭血者死白如枯骨者死
此五色之見死者也トアリ又青如

濁

翠羽者生赤如雞冠者生黃如蠶腹
者生白如豕鬣者生黑如烏羽者生
此五色之見生也トアリ如此說病

ヲ知ト云ハ望也 世俗ニケレミヤクト云ハ
此說ヲ云カ見直也

△聖ト云ハ病人ノ鼾聲ヲ聞テ病ノ吉

凶ヲ知ル事也。病人ノ声ノ清濁ヲ聞

テ。病ノ淺深ヲ知ル是ヲ聞ト云ヒ

聖ト云五音ハ五藏ヨリ出テ。宮

商角徵羽是也。然レハ病者声ヲ以テ

其聲中ノ病ヲ知ル。声ノ輕キハ氣弱キ

也。声ノ重ク濁ルハ風也。痛ム也。声ノ

夕ハ又ハ肺ノ病也。声ノ急ナルハ神ノ

驚ケル也。寒ルハ痰ノレワサ也。声ノ

ルウハ寒也。声ノムセブハ氣ノ不順也。

アエグハ氣ノイソガハレキ也。アクビ多キハ其人クタビレナリ。五藏ヲ宮商角徵羽ノ五音ニアテ、聞ニ肝ノ声ハ呼角ノ木也。調テスグナルハ無病也。角ニタルハ肝ニ病アリ。心ノ声ハ笑也。徵ノ音也。和カニレテユルヤカナルハ病ナシ。徵亂ルハ心ニ病アリ。脾ノ声ハ歌也。宮ノ音也。犬ニレテ和カナルハ病ナシ。宮亂ルハ脾ニ病アリ。肺ハ哭也。商ノ音也。輕クシテカタクスハ病ナシ。商亂ルハ肺ニ病アリ。腎ハ呻ナリ。羽ノ音也。沉シテ深キ病ナレ。羽亂ルハ腎ニ病アリ。
△エト云ハ病人ノ好ミスク処ノ五味

ヲ聞テ何ヲスキ。何ヲ多ク食スルゾト問テ又此病ハ何故ヲコリ。何レノ処ニ有病ト知。是ヲエトイヒ問トイフ。夫五味ハ口ニ入テ胃ニ収トイヘドモ。是ヲトロカトナレテ脾ニタセバ。脾則是ヲ五藏六府ニ散スル也。五藏モ亦其味ニヨツテ是ヲ受ル也。肝ハ好酸。心ハ好苦。脾ハ好甘。肺ハ好辛。腎ハ好鹹。○靈樞六十三篇曰。五味入口。各有所走。各有所病。酸走筋。多食之令人癭。鹹走血。多食之令人渴。辛走氣。多食之令人洞。心辛與氣俱行。故辛入心而與汗俱出。苦走骨。多食之令人憂。嘔

其走肉多食之令人僂心トアリ如
此レイテ其スキ好ムトコトノ五味ヲ
問テ其病ノ發ル処ヲ知ナリ

△巧ト云ハホロノ脈ノ虛實ヲ診候
シテ病ノ淺深ヲ知リ右ノ如ク段
々ニ見ツ。聞ツ。聞ツ。品々得心レ
テ。脈ニカ、ワルヲ巧ト云ヒ切
トイフナリ。○內經曰外ヲ以テ知
テ望聞ト云内ヲ以テ知テ問切
ト云トアリ。外ヲ以テトハ病人ノ面
色ヲ見或ハ音ノ清濁ヲ聞テ知也。
内ヲ以テトハ病人ノ食物ヲ問又脈
ヲ診テ意持シ問テ知ル事ナリ

○四季ノ平脈ノ辨
弦。鉤。毛。石。
此四ツノ平也

△總テ脈四季トモニ彈ノ字微ノ字
ノ心分別スベシ

春ノ脈 弦微弦ヲ好也 彈弦ヲ不好

夏ノ脈 鉤微鉤ヲ好也 彈鉤ヲ不好

秋ノ脈 毛微毛ヲ好也 彈毛ヲ不好

冬ノ脈 石微石ヲ好也 彈石ヲ不好

右是當季ノ脈ナレ凡彈ノ心アラバ
病脈ナルハ微ト云ハ少弦ト云心也。
彈ト云ハ少弦ト云夏也余ハ微之

○四季ノ虛脈

△春ハ沉脈ヲアラハレ夏ハ弦脈ヲアラ

ハレ夏主用ニ洪脈ヲアラハレ秋ハ

緩脈ヲアラハレ冬ハ浮脈ヲ見ス也

素問曰至而不至是謂虛此句ノ

心也。タトヘハハヤ其時節ハ至リタレ
凡當季ノ脈ハ不至レテ過サリタ
ル季ノ脈ヲ見ス是虚也。是當季ニ
母スル藏ト其母ノ藏トシカ子ニテ
襍フベシ

○四時ノ實脈

△春洪脈ヲ見シ夏緩脈ヲ見シ夏
主庸ニ浮ヲ見シ秋沉脈ヲ見シ冬弦
脈ヲ見ス。素問曰不至而至是謂
實トアリ。此句ノ意也。タトヘハ未其
時節ハ不至トモ藏府實スル故ニ
早トリコレテ來ル季ノ脈ヲ見ス也。
是ヲハ當季ニ旺スル藏ト其子ノ藏
トシカ子テ瀉スベシ

○四季ノ脈好惡ノ習

四季ノ脈モ春立トヤガテ弦脈ハ出
ズ。北日比ヨリ弦脈出ル也。夏ノ鉤脈
モ右ニ同シ。北日比ニテハ前季ノ
脈ナルベシ。余做之

△春ノ脈弦ハ當季ニ旺シテ好也。春ニ
秋ノ毛脈アラハ病脈也。春ハ木也。秋ハ
金也。金尅木ト尅スル故ニ其病必重
△夏ノ脈鉤ハ當季ニ旺シテ好也。夏ニ
冬ノ石脈アラハ其病重シ。夏ハ火也
冬ハ水也。尅スル故ニ惡脈也。夏ニ春
ノ弦脈ハ生也。相生ノ脈也

△秋ノ脈毛ハ旺シテ好也。秋ニ夏ノ鉤
脈アラハ病重シ。火尅金也。冬ノ石脈

出ルハ好也ノケニシテ相生也

△冬ノ脉石ハ壯ヒキレテ好也ヒキ胃土ノ脉ヲ嫌也ヒキ脾土ノ脉ハ細緩也ヒキ春ノ弦脉出ルバ吉ナリ

○弦。鉤。毛。石ノ事

△春ハ弦夏ハ鉤秋ハ毛冬ハ石是四季ノ平脉也ヒキゾレ春ノ弦脉トハ肝東方ノ木也ヒキ萬物始テ生ジイニダ枝葉モナキヤウニ脉ノ来ル事濡ヨク長シ是ヲ春ノ弦脉胃ノ氣有リ云是ニ及スル脉ヲ病脉ト云何ヲ及スルト云ヘハ其脉氣来ルヲ實ニシテ強シ是ヲ太過ト云病外ニ有テ氣来ルヲ虚ニシテ微シ是ヲ不及ト

云病内ニアレバ氣来ルヲ厥々耳トレテ榆ノ葉ヲナテ見ル手心レタルヲ平ト云又實ニシテ滯シヨクシテ長キ竿ノサキヲナツル如ク手ニ覺ユルヲ病ト云急ニシテツヨクカタキ事ツヨキ引ノツルヲ張タルヤウナルヲ死ト云但弦ナル計ニテ胃氣ナキヲ死ト云

△夏微鉤私曰微ノ字ノ心同上鉤脉ハ心本脉也夏ハ心ノ火ガ旺ズルニヨリテ鉤脉ヲ平脉トハ定ルヲナリ

△鉤ト云ハ心ハ南方ノ火也夏ハ萬物長ズル時也草木枝ヲタラ葉ヲ布皆下曲ニ如鉤故ニ脉来ルヲ疾

去^北一遲^ツ。故ニ鈎^ツト云。是ニ及スルノ
脈ハ病脈也。其氣来ル事。實ニシテ
強^ツキ。是ヲ太過ト云。病外ニ在^アテ氣来
ル^キ。虚ニシテ微ナル。是ヲ不及ト
云。病内ニ在^ニ。脈来ル^トク^クト
和^タニシテ。至^タヲナヅル様ニ覺ル^ト平^ト
云ナリ。氣来ル^ト數^クニシテ。雞^ノ足^ノ
ヲ舉^ルル^トクナルヲ病脈トスル也。
又前^ニガリ後^スワリテ。官^ノ人^ノ帶^ニ
夾^ニニテ居^ル鈎^ト云物ヲナヅルヤツ
ナルヲ死ト云。夏モ胃氣ナキヲ曰死
△秋微毛 私曰微ノ字ノ心同上。毛脈ハ
肺ノ本脈也。秋肺金カ旺スル故ナリ。
△毛ト云ハ。肺ハ西方ノ金也。萬物悉ク

終^ル草木モ皆秋ハ葉落テ其枝
バカリ殘ル也。葉落タル枝ノコト也。
故ニ其脈来ル^ト輕^ク夕^ク虚^ニシテ。
浮^スフ故ニ毛ト云也。是ニ及スルヲ病脈
ト云ナリ。其氣来ル^ト實^ニシテ強^ク
シ。是ヲ太過ト云。病外ニ在^テ。氣来
ル^ト虚^ニシテ微ナル。是ヲ不及ト云ス。
病内ニ有テ其脈来ル^ト物^ノヲ、イ
如ク按バ大ナル。是ヲ平ト云。雞ノ羽
ヲナヅル如クニテ。不^レ上^ラ不^レ下^ラ病ト
云。又按バブワク^トシテ。風^ノ又モシ吹カ
如キヲ。死脈ト云ナリ。秋モ胃氣ヲ
本^トス。胃氣ナキヲ死脈ト云ナリ
△冬微石 私云 微ノ字ノ心同上。石ハ腎ヲ

本脈也。故三石ヲ以テ冬ノ平脈ト云
△石脈ト云公醫ハ北方ノ木也。萬物ノ
藏ル所也。冬ハ水凝テ石ノゴトシ。其
脈來ルヲ沈テ滑也。故三石ト云也。
是ニ反スルハ病脈也。其氣來ル
實ニシテ強シ。是ヲ太過ト云。病外
ニ在テ氣來ルヲ虛微。是ヲ不及
ト云。病内ニ在テ脈來ルヲ上大ニ下
トガル。濡滑ニシテ雀ノクチバシノ如ク
ナルヲ平ト云。鳥ノツク如クニシテ中
微シ。滑ルヲ病ト云。氣來ルヲナヘル
索ヲホドク如ク去フ石ヲハレク如ク
ナルヲ死脈ト云也。冬モ胃氣ヲ本
トス。胃氣ナキヲ死ト云フナリ。

○二十四節之脈ノ次第

△七表ノ脈。是皆陽脈也。表ト云ハ皮膚
ヲ病也。大畧風病ノ心也。

浮 按之不足 人迎 風寒在經
多 舉之有餘 氣口 相應則 榮血虛與

○ 舉六指ニ滿テ浮フ。按ハ又ナキ
ガゴトシカナキヲ浮ト云。中風ノ
人ニアラハルマナリ。

歌 浮ノ脈ハ水ニウカヘル木ノゴトシ
ヲ其カクレテウスルナリケリ。

乳 中空候質 人迎 邪壅吐衄
如按慈葱 氣口 相應則 榮虛妄行

○ 是ヲニラ乳ト云ニラアキリ口ヲ
探ルゴトク指ノハラニアタレナリ。四
方ニカコミ有テ。中ウツヲナリ。吐血下

血ノ人ニアラハル、ナリ

歌 指ノハラニハリニアリテ中ハテシ
浮ニヤハラカニヒトモシヲキレ

氣脈ヲ指ノハラニテ候ス。經絡ノ兩

頭ニアラレド中間ニナレ血凝滯リテ

流レズ經絡ニ不満足口ニアルニ胸中

ノタニリ血ト知り。閉部ニアラハ腹中ニ

瘡出ル也。人中ニアラハ小便ニ膿血出ル
トシルベキナリ

往來流利 人迎 風痰潮溢
有如貫珠 與 氣口 相應則 逆飲凝滯

是ヲ候フニ三部ノ間ニ至ラツ

ナクカ如クイカニモナメラカニシテ滿

サル也多按ハカクシテ不進不退血

多流レソ、イテ。氣ハ少ク順ト知レシ

此脈ハ手足クタヒレ小便赤ク溢ル

ヲ主ル痰氣也内熱重キ熱也手内ニ

歌 玉ノ如クナメラカニシテス、ニ得ズ
フセハカクシテピリンキモセズ

按舉有カ 人迎 相應則 風寒母貫經
不疾不遲 氣口 相應則 氣血壅塞

強ク按ニモゴク按ニモカアリテ

ヲトリテ按ハツヨクフトニ熱ナリ

口訣曰按テ尋ルニモ絶セス輕舉テ

ハ餘リ有テ陽氣カクシテ内ニ有テ脾

ノ藏虚シテ不食シ手足痿テモ多

キ事ヲ主ル
歌 實脈ハ長ト同ク陽フヨ
イッタクオスモツヨク大キ

端緊經急 人迎 風走在痛
如張弓弦 與 氣口 相應則 脈積溢疼

脈 如張弓弦 與 氣口 相應則 脈積溢疼

一 弓ノ弦ヲ按カ如ク按トモ沈マ
 ス舉レバ指ニシタカイテ舉ル瘧ノ脈
 也筋痛ム脈口訣曰按ニタラス舉レ
 バ余アリ弓ノ弦ヲ按ニ似タリ常ニ
 火シハヤキ脈也肝木太過ニシテ脾
 胃ヲ尅シ勞風ニヨリカ裏手足ヒラ
 ラキ皮毛カレカニケタル事ヲ主ル
 歌 弓ヲハリカヲ入テ弦ヲ按
 スグニニガラス細ク引ハル
 動轉無常 人迎 經絡傷寒
 如細草線 氣口 相應則 藏府作痛

指ニアタルコハク急ニシテ火
 ハヤシホソキ繩ヲオスカゴトシ弦上緊
 トハ取ワケガタシ緊脈ハ弦ニヨリノ
 カルゴトシ身ノ痛ハ腫物癰疽在

口訣曰指ニテ發ニ三開通ゴワタル
 按バ余リアリ舉レハ進テ負其弦ノ
 如シカクシタル風氣陽邪ノホリシカ
 シテ物ニクルヒヲトロキ易キヲ主ル

歌 弦ニ似テヨリノカ、レル如クニア
 底ニカタキヲ緊脈トシレ
 來之至大 與 人迎 相應則 寒癰諸陽
 去之且長 氣口 相應則 氣攻百脈

大ニフトクヲドリテ指ニ滿テカ
 アリ熱也風氣ニモ有。口訣曰指ノ腹
 ニアタル事イカニモ大ニ舉レバ有餘
 ナツキ疼ニ手足ウカヒ熱シ大腸
 通セス大便結シ口中カギ身ノ痛
 ハ一ヲ主トル

歌 大キクテ。ヒロクゾユビニ滿キタル
 大キニ座ドリ。ヒロクナカキ。

八裡ノ脉 是陰脉也

微 極細而軟 人迎 風暑自汗 似有如無 與 氣口 相應則 微陽脫泄

○ ヲトルヲ 輕ク細クアルガコトク

ナキカコトシ。口訣曰微脉ハ往來イ

カニモカスカニレテ。有力無カノゴトシ

陽氣衰ヘ敗血ヤスズレテ。小腸虛

シ。骨髓枯カハキ。崩漏白帶ヲ主ル

歌 有カトテ按バタヨノ弱クシテ 無カコトクニホソクカ又カン

○ ヨク按ハ無カコトシ。ツヨク按ハ硬

シテ石ヲ綿ニ包タルヲオスゴトシ

口訣曰尋ルニアル様ニレテ挙ルハ

全ナシ藏府ヒクニ焦塞リ。兩脇ノ間

氣フクテ手足トモニ寒ル。寸口ノ沉ハ

胸ニ痰アリ。関部ノ沉ハ氣短ク心中

痛三尺申ノ沉ハ腰足重ク小便濁數

歌 上ニナク按ハソコニテ強クウツ 是ソコトノ沉脉ソカレ

○ 少浮テ大ニオトリテ。軟ニテ無

口訣曰緩脉ハ往來少シ。遲クユルヤカ也

四動ノ平脉ヨリハ遲ク三動ノ遲脉ヨリ

ハ早シ。手足イキレ悶(息)カヒハヤク。腹

風暑自汗

微陽脫泄

小腸虛

崩漏白帶

寒伏陰經

血凝腹臑

強クウツ

無カコトク

ツヨク按ハ硬

尋ルニアル様

兩脇ノ間

焦塞リ

氣短ク心中

腰足重ク

小便濁數

軟ニテ無

往來少シ

極細而軟

似有如無

ヲトルヲ

カニモカスカ

陽氣衰ヘ敗血

骨髓枯カハキ

ヨク按ハ無カ

口訣曰尋ルニ

全ナシ藏府

氣フクテ手足

胸ニ痰アリ

痛三尺申ノ

歌 上ニナク

少浮テ大ニ

口訣曰緩脉

ハ早シ。手足

歌 緩多キ浮

是陰脉也

人迎

與

有力無カノ

小腸虛

寒伏陰經

血凝腹臑

強クウツ

無カコトク

ツヨク按ハ硬

尋ルニアル様

兩脇ノ間

焦塞リ

氣短ク心中

腰足重ク

軟ニテ無

往來少シ

風暑自汗

微陽脫泄

小腸虛

崩漏白帶

寒伏陰經

血凝腹臑

強クウツ

無カコトク

ツヨク按ハ硬

尋ルニアル様

兩脇ノ間

焦塞リ

氣短ク心中

腰足重ク

小便濁數

軟ニテ無

往來少シ

濡 參伍不調 人迎 相應則 風濕寒痺
如兩涘砥柱 氣口 相應則 津汗血枯



動一細之レテ。輕ク澁ル意有

作ノカハヲコソケルガゴト。口訣曰濡

脈ハ郁ニ飲テ奉レハ全ナシイカニモ

ウスクカルキカニテ作ノ皮ヲテツルニ

飲タリ。澁リ滯ツニテ滑ニナキ脈也

腎ノ精汁ノ及タル脈也身ヲウルホ

スノ血ガハキスクナクナル脈也故ニ男

ハ精ヲ傷リ婦人ハ敗血ヲナレ懷妊ノ

人ナラバ腹中ニ痛ム或アラシ

歌 細クレテ遲キハ況ムニヘソカシ
血脈ノ證ニ濡脈ハアル

遲

應動振緩 人迎 相應則 濕寒凝滯
按之不牢 氣口 相應則 虛冷沉積



ユルクレテ少カアルカゴトニ呼吸ノ

間ニ三度ヲドルナリ。口訣曰遲脈ハ指

ヲ重クレテ得タリ。息ノ間ニ三動ハカ

リ來ルナリ。律來キハ三リ遲ニ腎虛

レテヤスカラス寸関尺ノ間ニ遲ク有

ハ三焦ノ間ノ寒冷并ヘレルベシ

歌 尋ヌレバカクルヤウニソクウツ
寒タル人ニ遲脈アリケリ

伏

沉伏不出 人迎 相應則 寒濕癆瘵
着骨乃得 氣口 相應則 疑思凝神

不見 按ハ見ヘズ骨ニイタルホト按ハ少

覺ス。口訣曰有ニ飲テ呼吸定息全

クナレサイク懇ニ搜尋レハ三関ヲ

離レサル也。筋ノ下ヲカクシテ行。毒氣

二関ニ塞リ。手足重ク寒ル也。寸脈伏

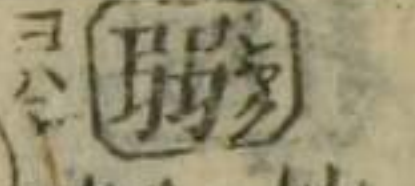
スレバ脚中ノ聚物也。関脉伏スルハ陽解
有テ。泄瀉スベシ。尺脉ノ伏ハ食事ヲ
消セス。臍ノアタリニ痲瘦アリト是ヲ
腎精痲氣女ノ痲聚ナドナリ

歌 骨二付按ハ有ケル脉ヲコソ
伏脉トイヒ終ニツカスソ
按之不見 人迎 寒温散漫
輕手乃得 氣口 相應則 殫泄緩弱



軟ニシテ輕クカナレツヨク按ニ
消テ見ヘス。口訣曰濡脉ハ有様ニシテ。

指ヲ舉レハナレガヨハク五心イキレ熱
シ腦サクメキ。下焦ノ元氣寒キハハル
丹田カキ骨蒸ノ勞熱ヲ主ル骨蒸
ハ腎水カル、故ニ骨ノ申熱スル也
歌 和カニラセハナクシテ有ニ似テ
奉レハナキヲ濡脉ト云フ



按之軟絶 人迎 風温緩微
輕軟無力 氣口 相應則 筋絶痿弛



綿ヲオスカコトシヨワク按ハ覺ス
ツヨク按ハナレ沈ンテ細クヤラカ也

口訣曰弱脉ハムシロハタヲ搜カコトシ
手ヲ輕レテハサグリ覺ヘ手ヲ重シテ
ハ則チレイカニモヤクトシテス、ミス産
後ニ客風入来テ面々スハレ氣弱キ脉
也。寸口ノ弱ハ陽氣虛シ。自汗ス関部
ノ弱ハ胃氣不足ニシテ中焦弱シ。尺中
ノ弱ハ陰氣絶シテ骨肉痲痺ヒテ、モ
ハタヘイキルナリ

歌 手ヲカロクトレハ有カトクタカハル
按ハ絶ナリ弱脉ノクセ

右ヲ八裡ト云陰三属ス上焦中焦下焦

○九道ノ論 長短虛從維代年歌細
是ヲ九道ト云フ

往來流利 人迎 微邪自愈
出於三關 與 氣口 相應則 藏氣平治

○長 是ヲ按ニテガクシテ 抑ノコトシ

陽盛ニシテ大熱ニシテ体ハル下共イユ

口訣曰長脈ハ陽也指ニテ尋ニ三關

ノ間竿ヲ持良ノ如ク也指ヲ擧シハ

余リ寸関尺ノ本位ニスギタル長

ト云陽熱ヲ云ニ身甚熱起即安

カラズ陽毒ノ藏中ニ有脈也汗ヲ

發シテ易キ莫ヲ得ル

歌 按ハタ、竿ヲ持テノ按コトシ
上レハナラモ續ク長脈

按舉似數 人迎 邪閉經脈

不及本部 與 相應則 積遏脈氣

氣口

短

一短クシテ米粒ノ如シ中有テ兩

頭テシ氣息急ナリ腹中ノ寒下セバ

イユ口訣曰短脈ハ寸関尺ノ本位ヲ

不及ヲ短ト云手足ノ口サムク脈中ニ

氣ヲ生ジ三焦塞リ陰中ニ伏脈アリ

藏中ニ宿食アルノ脈ナリ三焦ヲ通浮

シテ必スヤスカルベシ

歌 短クレ指ノ下ニタラズシテ
去コトハヤキ短脈ゾカシ

遲大而軟 人迎 經絡傷暑

按之豁然 與 相應則 榮衛走移

氣口

虛

一少按ハ歩アリ強ク按ハナキカ如シ

フトキヤラニテ和カニシテカナシ血

虛シテ熱ヲ生ス陰也口訣曰虛脈

ハ陰也指ニテ按尋ルニモ不足輕ク

舉ルニモ不定イカニモツケタル脈也。
物ニ驚キ。胸サバギレ心ホレ安ク血
虚ニテイキレ熱シタル事ヲ主ルニ焦
ヲ補益シテ則易シ

歌 按入不足ヲツクフワク和カニ
タヨクウツハ虚脈トシテ

往来急數 人迎 相應 積留胃府
時止復來 氣口 相應 積留胃府

是ヲ按テ急モハヤレ時ハ止ル寸
部ニ出ル止ニ似テ又來ル生ノ貫ヲ

按カコトシ心肺膿血熱シテ在諸ス
陽也口訣曰陽也極テハヤレ關部ヨリ

スニ出テアハセテ寸口ニ居ル脈ナリ
常ヨリモコトノ外早クシテ一動ヅ

ウチキレテ有血斑点ヲサスノ脈也

此促脈以第ニクハリ増ハ則死ス次第

ニレリソキ減スレバ必生ル也

歌 極リテ數ニヒトタヒ解リツ
又々クルハ陽サカシナリ

往来連緩 人迎 相應 陰散陽生
時止更來 氣口 相應 積阻氣節

是ヲ按ハ麻ノ子ノ如シメクリクテ

止テ又來ハ脾ノ間ノ積氣脹滿口

訣曰陰也常ヨリモ火シ進クシテ來

リサル聚テ皎ルトキ一動トシテ也
血流通セス氣メクリ散セズ精氣

臟ノカタハラニ生シテ手足痛三悶ルヲ
主ル歌 結レテセトタヒ上リ又來ル
是ノ專テ陰サカシナリ

臟絶中止 無問問外之所因得此必死

代 餘藏代至

動ヤウニヲトリ止テ又来テユク
 トゾド止エ三動モヘタリテゾドル死脈
 也。陰也。口訣曰。代脈指ニテ尋ルニ時々
 ウキ浮テツクイテヲコルカト思ハ
 却テナレ。脾氣風邪ニ傷ラレテ魂離
 クラレ。又曰。五臟ノ内イツレニモ一藏絶
 極テ呼吸ヲ主トラサルガ故ニ脈其
 絶藏ニイタラスレテ。代脈ヲ見ス
 也。絶サバル藏ノミカハルク動ズル或
 シバラク止トマル也。

歌 動レテハウチトニリテ又来ル
 五藏ノ氣タヘウチキル代

牢 沈実質大 人迎 相應則 半產生脱精
 如按鼓皮 氣口 相應則 半產生脱精

一 三ホキ皮ヲスカ如レ少按バアリ。

ツヨク按バナキカ如レ指ハハラニ廣ク
 カタレ。疾陽相蹴テ命不久。身種息
 急也。是ハ陰也。口訣曰。牢脈八陰也。指
 ニテ尋ルニ即ナレ。押テミレ却テ有
 不來不往如ナリ。骨ノ間臈三氣イ
 ンカハレクレテ。胸ノ間ニ有

歌 窓ハ上ノ皮ヲ按コト
 ツヨクヒロキク牢脈トイフ

在關如豆 人迎 相應則 寒疼冷痛
 動 脈 不行 氣口 相應則 心極馬驚

豆ノゴトクニレテヲトラスレテ
 也。尋ヌレハ有。舉レバナレ。多ハ関部ニ
 アリ。虚勞榮衛久レク虚ス。中又
 ハ血痢アラキ脈也。口訣曰。動脈八陰也。
 按テ尋ニ関部ニ有テ。尺寸ニ無

カ如シ奉テ候ヘハナレ其内部分ニ有脉モ
不往不來シテ其形ヲ離レズ手足勞
レテ弱ク血虧ラ煩ヒ女血クツレ下
リ煩フ脉也。

歌 按ハ寸尺ニゴテタラズ開ノカミ
マメノ如ニ浮タツライフ

細 指下尋之 人迎 諸經中
來往如線 氣自 祖雁 五藏 變

ツキ。陰陽虛敗シ精神散ズル也。胃ヲ
養ヘハ十二ハ愈ユ。口訣曰陰也。指ニテ
搜リ尋ルニ細ク糸スチノ指ニサハルニ
似タリ。來往イカニモ細シ。良瘦カレケ
足腫レビシ。毛髮カハキ。カ弱ク髓ニヘ
腎ノ精汁モル、古又ヲ主ル

歌 細クシテ按ハ糸スチ引ハテ
ソクホソキヲ細脉トイフ

○奇恒六十首ノ事

△脉ニ奇恒六十首ト云フ有知人
ナレ往古此事ヲ辨ス。内經方盛
衰論曰聖人持診之道先後天賦而
持之奇恒之勢乃六十首。玉機論曰
奇恒六十首今世不存則失其傳
着由来遠矣ト云云此説常用ニ
立ストイヘ凡脉ノ各自ヲ認スルニ

○及關ノ脉ノ事 玉叔和脉經

△左右ノ寸關尺ニテ脉ノ虛實ヲ知
事ハ常ノ一也。及關ハ尺部ニテ上リ
關ノ所ヨリ手ノ仰ノ方ヘ流レ行キ。
寸口ニ六脉ウタヌ也。是モ平脉ナリ。

得へキ事也。手ノ仰ノ方ニテ可診

○同等之診脈

△寸関尺三部トモニ大小浮沉遲數ヲ
ナレク等キヲ云。陰陽平和ノ脈ナリ。
其人甚煩フトイトモ療治ニカ
ルヘシ。三部カハルク不同ナルハ難治
經曰人病而脈不病生。脈病而人
不病死。此心ト等シ脈ヲ肝要トス
ルノ言詞ナリ

○交常ノ脈

△人健ニシテ脈煩ハレク病人ノ脈平
和ニシイ壽キ人ノ脈短ク。若キ人ノ
脈老人ノ如ク。老人ノ脈若キ人ノ
如ク。肥タル人脈大ニ瘦タル人ノ脈

沉實ナルハ皆病也。私云脈短クト

寸関尺ノ三部ノ位ニ及バサルヲ云

也。又トババノ世ニキ脈ナリ長キト

ハ三部ノ位ニアマル也。ハノヒロキ脈

也。若ク短キ者ノハ五六動ウツテ

サカシナル脈也。カ弱キ也。又老人ニ

此脈アルハ口ロキ也。老人ノ脈ハ四

動。或ハ三動半ニテモ苦シカラス人

人此脈ヲ若キモノノ得モ口ロキ

肥タル人ハ脈沉ナルガヨシ。其故

尙アツキニ依テ脈ガ沉ム也。令浮

ナルハアシ。瘦タル人ハ尙ウスキニ依

テ。脈ガ浮ニナル也。令沉ニナルモスハ

口キ脈也ト師説ニ傳ヘタリ

○證ト脈ト相及ス事

△病ハ熱シテ脈靜 △泄而脈大

△脫血脉實 △汗後脈躁

是皆治シ難シ故ニ內經ニ四難ト云

○筋骨ノ痛例

△四肢腫痛シテ其脈弦ナルハ筋骨痛

也。崩也。又其脈沉ナルハ骨ノ痛也

腎也

○腫ト痛トノ辨因

△手足 痛ハ邪火トス 鳥獸魚鱗ノ

腫ハ濕邪トス 類ヲイム

○腫痛ノ滑濇

△四肢骨節腫痛シテ脈滑ナルハ濕也

燥其愈又濇數ハ瘀血也退カスベシ

○虛煩ノ辨察陰陽ノ升降

△食傷勞倦 陽虛煩熱ハ脈大ニシテ

カナシ右脈肺胃ヲ補ヒ益氣ヲ升

勞心嗜慾 陰虛煩熱ハ脈數ニシテ力

ナシ左脈心腎滋潤シ精血ヲ潤行

○丁等各別ノ辨診

△脈經曰 虛寸關尺 論スベシ

九道ハ三部丁等ニ辨スレハナリ

七表ハ裡ハ三部各別ニ辨スレハナリ

○汗瀉ノ辨診

△患者 陽脈微ナル則自利アル人ト知

○壯瘦細大ノ辨

△病人其形壯ニシテ脈細少氣ニシテ

息スルニ不足者ハ危シ○又焦瘦ニシ

脈大胸中多氣ナル者ハ死ス

○虚里ノ脈ノ事

内經平人氣象論曰胃之太絡各曰虚里トアリ又經脈篇曰脾之太絡名曰大包トアリ左ノ乳ノ下は動脈有衣ノ上ニテ應ズルナリ此氣ナリ此脈タユルトキハタトヒ寸口三部ニ脈アリト云トモ死ス。方二經十五絡トイヘドモ胃ノ太絡ハ別シテ肝婁ナリ故ニ類經ニハ十六經トシテ胃ノ太絡ヲニツニ並ルナリ私云 虚里ノ脈人ニ依テ処少違脈ニ大小有ベシ可考也

○六部ノ脈診候

心

浮ハ中風傷風汗タリ鼻塞リ頭痛眩暈

孔ハ血痢吐血

滑ハ心藏ノ熱嘔逆ス

實ハ胸中ノ熱脾藏虚胃氣滯不食

弦ハ頭痛胸中熱痛盜汗手足痠疼

緊ハ頭痛心中氣逆ノ冷痛

洪ハ胸中ノ熱脹滿頭疼執証中風出胃

微ハ心ノ虚寒又ハ微ハ心ノ脈ナキ也

沉ハ冷痰胸ニアリ

緩ハ眩暈項ノ筋コリ痛

瀼ハ心ノ血氣衰ルナリ

遲ハ心虚寒ス伏ハ氣進ス

濡ハ虚損シテ汗出

弱ハ陽虚シテ汗出

肝

浮ハ腹脹胃虛。微ハ目暗腹痛。
 花ハ腸癰腹中瘀血目暗嘔吐。
 滑ハ肝蔽執頭目熱又腫。
 實ハ痲痺積聚腹痛目暗痛。
 弦ハ痲痺脇下痛積聚ナリ。
 緊ハ胸中痛腹痛筋痛頭痛。
 洪ハ肝藏熱身痛手足腫痛。
 沉ハ兩脇脹滿手足冷腹內疼痛。
 緩ハ眩暈腹中筋痛。
 濡ハ血虛兩脇脹痛。崩中漏下。
 遲ハ腹中又膈痛胸中ノ冷氣。
 伏ハ眩暈下血洩瀉。
 濡ハ精神虛弱盜汗氣血共虛ス。
 弱ハ筋痿目暗血氣虛ス。

腎

浮ハ腎ノ風熱大小便澀ル。浮腎ハ淋病
 花ハ淋病或ハ小便赤シ。
 滑ハ小便赤ク。女子ハ姓ハ。左滑ハ男右滑ハ女
 實ハ小便不通腰痛或ハ小便赤。
 弦ハ下焦水アリ。小腹痛腰痛ハ。
 腎ハ臍下及腰脚痛淋病。
 洪ハ小便赤澀。兩脚痛腎虛。
 微ハ男子ハ小便血出。女子ハ崩中滯下。又腎虛ス
 沉ハ冷氣腰痛小便白シ。
 緩ハ腎虛ノ耳鳴冷氣小便餘。
 濡ハ小便繁多精漏痲氣腰冷鳴。
 遲ハ小便白ク身冷頭顛。伏ハ。痲氣小便痛
 濡ハ虛損血氣槁寒熱ヲ生ズ。
 弱ハ骨肉痛血氣共ニ虛極。

肺

浮ハ肺ノ風寒傷風咳嗽頭痛
中風浮實ナル咽乾
 花ハ吐血瘀血上ニアリ
 滑ハ嘔吐滑而實ナル肺大熱
咽乾熱咳
 實ハ上焦熱喘嗽痢病
弦ハ胸中痛
 緊ハ肺氣實ス身痛傷寒頭痛
 洪ハ咽喉上焦ノ太熱洪ニノ緊ハ喘息
 微ハ上焦寒
 緩ハ寒上テ項筋強痛
 沉ハ咳嗽
 瀼ハ陽虛心血火
 遲ハ胸中ニ寒氣滯テ胸痛ス
 伏ハ胸中ニ氣滯テ痰アリ肺冷積
 濡ハ元氣虛ニ汗汗ス
 弱ハ陽虛氣滯テ筋痿

脾

浮ハ脾氣不足腹滿不食積聚胃石
 花ハ胸中ノ瘀血腸癖吐血
 滑ハ脾ノ熱飲食下ラズ吐逆
 實ハ脾臟虛ニテ不食口乾
胸中熱痢病ス
 弦ハ胃中ノ寒宿食壅氣
 緊ハ脾中痛嘔逆胸痛
 洪ハ胃中ノ積聚吐逆口乾
洪數系ハ張滿
 微ハ胃中寒脹滿飲食消ス冷洩
 沉ハ胸中滿吞酸心腹痛
 緩ハ風寒肌肉ニイハ又腹拘急
 瀼ハ腰痛不食胃冷テ嘔逆血虛
 遲ハ中焦ニ寒アリ胃冷テ不食
吞酸腹冷
 伏ハ中脘ニ物滯テ又血溲瀉手足冷
 濡ハ体重ク虛弱虛損ス
 弱ハ胃虛ニテ安ヲ熱ス

浮、肺太腸ノ風熱、小便秘ス

乳、血痢腎虛、小便二血出

滑、下焦ノ實熱、消渴或下痢、胎冷、女子、八極、胎

實、熱痢、小便澁

弦、小腹疼痛水、下焦、ニアリテ、後、二水腫、トナル

緊、下焦疼痛、緊ニ急ナル通尸、膈下痛

洪、大嗚、熱、大便不通、洪、緊頭痛、癰

微、小腹寒アリ、精聚、腹痛男、八虛損、下、八、イ、エ、レテ、精血散ズ、女、八、子、ナ、レ、又、八、崩漏、又

沉、水腫、又、腰脚、重痛冷痢、腹痛、小便、ナシ

緩、下焦ノ寒、瀉、利、腎、虛、冷、積

瀼、小腸、冷、鳴、下、痢足、冷、寒、濕、痺、又、精血、ツク

濡、腰脚、重、寒、熱、發、作、下、焦、極、冷内、熱、外、冷

伏、宿食、滯、大、便、下、血血、痢、下、焦、冷、痢、氣、遲、八、下、焦、筋、痿、精、血、散、ス、虚、熱、アリ

弱、下焦、冷、陽、氣、ナシ

命門

